

2025年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和8年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和8年2月18日（水） 10：20～13：00

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・桐山事務局長・吉川事務主事・柏原教務主任

○松林校長より

年度末の報告をふまえ、来年度に向けてより良い学校になるため忌憚ないご意見を沢山出して頂きたい。来年度は改革の年である。新しい取り組みとして学校教育法改定による単位制への移行と、専門士の在り方の変更について説明していく。

【議題】

1. 令和7年度第2回自己評価委員会報告

令和7年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の5項目・学修成果の4項目・学生支援5項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等遵守の2項目・社会貢献の2項目について、評価4について継続的に向上した部分の報告と今後の対策について細かく説明を行い、対策方法等について意見交換を行った。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

- （基準1）**総括** 環境の整備と並行し特色ある教育活動を行うため、カリキュラム等教育内容の授実を図っている。特に業界のニーズに合わせた実践的教育を多く取り入れ即戦力となる人材の育成に努めている。また、豊富な知識・技術力と併せて人間性や社会性を養うため積極的に社会貢献・地域貢献に関する活動へ参加を促し実施している。
- 教職員においては、毎年教育理念に基づいた明確な教育目標を示し、全教職員が共通認識の中で「社会に通用する人材の育成」を目指し取り組んでいる。

学校関係者評価委員コメント 問題ない。継続して行ってほしい。

今後の改善方策

- ・教員・外来講師が共通認識の中で、学生育成をしていきたい。

- （基準2）**総括** 社会情勢の急激な変化に伴い5ヶ年の期間を3ヶ年とし、より迅速な課題把握と対応を可能にした第9次3か年計画（令和7年～9年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機理体制、施設設備の充実を図る。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・教員育成について、サロン現場との差を感じてしまうのでは。教員を採用する際、既卒者をそのまま助手として採用する形式をとってみるのも良いかも。指導者が居ないと学校経営はできない。投資する時代である。
- ・学校支援サロンをもっとうまく活用してもよいのでは。新人育成プロジェクトが必要。

- ・自分がされて嫌なことはしない。人間関係が一番大切である。
- ・ロコミに振り回されない強さ。情報教育が必要。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・マニュアルという考え方より、ガイドラインとして伝えていく方が良い。受け取る側、相手の行動の背景を考えてつくるべき。一人で出来ないことを、仲間たちで協力し合ってやることの大切さをつたえてみれば良い。
- ・継続するための勉強は必要である。
- ・理美容業界は感情の業種である。一流ホテルにおいても、マニュアルはクレーム対応のみである。シンプルで良いのでは。平均化を求める時代であるが、教育の現場においてマニュアル化はむずかしいのでは。

今後の改善方策

- ・人事の難しさを感じている。教員育成に力を入れていきたい。
- ・学生教育に対して課題がたくさんある。学生の考え、感じ方も変化があり先生自身も迷いを感じている。

(基準3) **総括** 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。2学年選択授業はカット&カラー、まつげエクステンション、フォトメイク、ネイル、ブライダルのうち2科目選択を実施した

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・今後も引き続き、現場の先生方のサポートをしていきたい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・カリキュラム内容を毎年工夫していて素晴らしい。

今後の改善方策

- ・時代、学生の要望に沿ったカリキュラム内容としている。
- ・より良い学校にしていくため、教育活動に力を入れ、在校生満足度を上げていく。

(基準4) **総括** : 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・資格取得・教育内容を毎年高めていくことが大事である。
- ・先生方が諦めずに希望を持って頑張るしかない。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・就職希望無し10名が気になる。価値観の変化なのか。
- ・資格については、新しいものを増やしていった方が良い。ヘアケアマイスター資格は必要である。

今後の改善方策

- ・就職しない学生が10名。働くことに対する意識づけを根気よく続けていきたい。カリキュラム内容をもっと楽しさや、やりがいを感じる内容を検討していきたい。
- ・1年次オリエンテーション、2年次就職説明にて、就職部より検定取得の意味合いを来年度も話していく。

(基準5) **総括** 本校の特色は、夢と希望を持って将来美容師やエステティシャンを目指して入学してくる生徒の夢がかなえられるよう、最大限の指導と協力を惜しまない体制がある。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・奨学金サポート体制が整っていることは素晴らしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・コンテスト参加は大きな意味がある。努力する力・喜びと苦しみを覚えることができる。
- ・実務実習に加えて、校内コンテストの際、全国から審査員を呼んでも刺激になるのでは。卒業生をもっと上手く活用すべきである。

今後の改善方策

- ・校内コンテストの方法を今後検討していきたい。

(基準6) 電子黒板やWi-Fiなどを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。
シャンプー実習室、エステ実習室、テクニカルルームなど、水回りや電力の充実した教室を最大限生かして利用している。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・サロン側が、美容業界の魅力を伝えたい考えを持ったサロンが増えてきている。
 - ・学校として、県外のサロンを勧めていると感じているようである。
- 就職部として、県外サロンへの就職を勧めているということはない。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・実務実習の機会をもっと活用してほしい。地元サロンの良さをアピールしてほしい。
- ・業界を良くしたいというサロンは沢山ある。

(基準7) **総括** : 令和8年度学生募集については、多くの入学希望者を確保することができた。
ひとえに、伝統校としての信頼感に加え、学校の雰囲気の良い。先生たちが大切に学生たちを育成している点が選ばれた理由だと感じている。
今後はより一層県外流出防ぐ手立てと、時代に合った広報活動に力を入れていく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・広報活動はすごく工夫していて良い。
- ・ナガコレの中で、お仕事体験を学校主催でやると良いのでは。学生募集につながる良い機会となる。来年度に向けて企画していきたい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・美容師58万人居る時代である。学生募集として小中学生へのアプローチが1番効果がある。
- ・学校と業界が今以上にタッグを組んで、もっと学校支援サロンを上手く活用していくべきである。

今後の改善方法

- ・選ばれる学校として、継続していけるよう時代の流れに合った広報活動をしていく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

- ・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10)

美容科 社会福祉学を学ぶなかで、理美容介助士の資格取得し、体に障害のあるお客様に対応できる介助技術を学んでいる。どなたへもより良い対応ができるよう『准福祉理美容師』『福祉理美容師』の資格を取得できるカリキュラムとなっている。

ビューティビジネス科 上記同様に地域ボランティアとして学んだ技術を提供する来校実習を行っている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ボランティアは社会貢献の重要性を学べる良い機会である。

今後の改善方法

- ・以前行っていたナガコレの時のゴミ拾いを毎年行っても良いのでは。

2. 重点目標について (別紙1 参照)

(1) 令和7年度重点目標実施報告

重点目標① 接客の基本 「時間管理」「言葉遣い」「挨拶」「美しい環境」

○ 時間管理

休み時間で次の授業の準備を習慣が身に付いた学生もいる。全員、5分前行動が当たり前になるようにしていきたい。

○ 言葉遣い

言葉遣い、言葉選びが重要である。友達との会話でも気になる場面が多く、トラブルもあった。目上の方やお客様との会話を想定した話し方を身に付けて欲しい。

○ 挨拶

大抵の学生は挨拶が身に付いてきた。自ら進んで明るくできる学生は少ない。また、自分の不機嫌さをアピールするかなのような学生も多く、周りへの配慮にかけている。根気強く指導を続けていくしかない。

○ 美しい環境

整理整頓の個人レベルが違うため、個々に合わせた指導が必要だった。

重点目標② 「体調管理」「素直な心」「感謝」

○ 健康管理

体調の管理だけでなく精神面も遅刻や欠席に表れている。保護者共に欠席に対して抵抗がない場合が多い。日頃から体調管理をし、休まないようにするという意識をつけさせたい。

○ 響いていく指導

指導の後に、何かしらの言い訳がでる。「素直な心」「感謝の気持ち」が育っていなければ、上達するのにも時間がかかる。教師が生徒からの信頼や尊敬の対象となるよう、隙が無いよう行動していた。

重点目標③

○ 新人教員もいるので授業の仕方、学生指導の経験など手合わせや情報共有を心掛けた。検定も可能な限り取得した。

○ 2名の主任が全体の主任となり、戸惑う場面も多々あった。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・サロンのリクルート内容をチェンジした。自分の価値観を持つ人材は個性的で魅力的である。多様な教育が求められる時代である。一人ひとりのオリジナリティを活かして行ってほしい。趣味が合う・話が合う・居心地が良いを大切にしていく。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・接客の考え方について、リッツカールトンや東京ディズニーランドで、接客を学んできた世代のスタッフが新人を指導する時のギャップがある。接客指導をもとめていない。
- ・AI オートマ化の時代だからこそ、相手に合わせられ寄り添うことが出来る人材が伸びていくのでは。美容師として人間的魅力を伸ばして行ってほしい。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・人間性を高めることは難しいが、学生一人ひとりに向き合いながら、業界で活躍できる人材育成に力を入れていきたい。

(2) 令和8年度重点目標 (別紙2参照)

重点目標① <接客の基本>

- 時間厳守…信頼につながる
- 身だしなみ…どなたにも清潔感と安心感を与えられるように
- 挨拶…自ら進んで、明るく元気に

重点目標② <学ぶ姿勢>

- 事前準備…事前準備は時間管理の上に成り立つ。休み時間は次の授業の準備のための時間。
- 健康管理…健康管理は仕事に対する責任感の有無が分かる。感染症などの対策をし、生活の乱れがないように自己管理をする。
- 行動力…学ぶために必要なのは静かに待つよりまず行動に移す事。技術の習得や、就職情報の収集、自己啓発や自己PRができる体験への参加等に加えて、日頃の学校生活の中でいかに自分のファンを作っていくかを考え行動させていく。

重点目標③ <職員の指導力強化>

- 学生が不安になることが無い様、職員も日々技術向上を目指すため、練習や手合わせする時間を確保する。新任職員の技術力や指導力を補いながら、新人職員を育てる。
- 指導力を強化するためにも、指導方法の統一化を図る。(例・授業時間の管理、計画、学生の身だしなみ、遅刻、欠席、学生間のトラブル、課題提出までの期間 など)
- システム化や単位制など、今年度の新たな取り組みが多いため、業務が蓄積することがあっても、殺伐としないように、職員同士がねぎらいあいながら進めていけるように心がける。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・重点目標をきちんと考えられているので、目標達成に向けて頑張ってもらいたい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・指導する側の考え、価値観をおしつける時代ではない。相手の価値(個性)、良さを認めてあげる事が大事。考えさせる教育をして行ってほしい。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。